

# 私立 千葉商科大学付属高等学校 シラバス

国語科「文学国語（3年普通科総合進学文コース）」	単位数	4単位	学科	普通科
	学年	3年	組	A・B組

## 1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説に描かれた世界を味わい、そこに表された人間の在り方について考えを深める。また、展開や状況の変化を読み取り、現代の社会や自らの生活を捉えなおす。</li> <li>・文学の価値や意義について考える。</li> <li>・入試に対応できる論理的思考力を身につける。</li> </ul>
-------	---

育成する資質能力	「向上心」「創造性」「思考力」「判断力」「表現力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容を理解しているか。</li> <li>・基本的な語彙に加え、正しい日本語や漢字の知識が身に付いているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだことを活用できるか。</li> <li>・受験に向けての読解力、表現力が身に付いているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物を期限内に提出しているか。</li> <li>・誤字脱字などをせずに、授業で示されたルールに従って提出物を作成しているか。</li> <li>・授業に主体的に取り組んでいるか。</li> </ul>
評価方法	定期考査 100%	定期考査 100%	提出物、課題、授業態度等 100%
配分	60%程度	30%程度	10%程度

## 2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、他教科との関連など）
第1学期	<p>【中間考査範囲】 小説「山月記」</p> <p>【期末考査範囲】 小説「葉桜と魔笛」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考えめます。</li> <li>・多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、その世界観を味わいます。</li> <li>・物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わいます。</li> <li>・太宰治について理解を深めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPadを効果的に活用する。</li> <li>・進度によっては問題演習などを行う。</li> <li>・中間考査</li> </ul>

	評論「言葉を生きる」	・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深めます。	・期末考査
第 2 学 期	【中間考査範囲】 小説「こころ」  【期末考査範囲】 小説「檸檬」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説における場面展開や、人物の性格、心理の描写を読み取ります。</li> <li>・人の心のありようについて考え方を深めます。</li> <li>・夏目漱石について理解を深めます。</li> <li>・登場人物の言動や心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考えます。</li> <li>・梶井基次郎について理解を深めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・i Pad を効果的に活用する。</li> <li>・進度によっては問題演習などを行う。</li> </ul> <p>・中間考査</p> <p>・期末考査</p>
第 3 学 期	なし	なし	なし

使用教科書	東京書籍『文学国語』
副教材	東京書籍『新総合図説国語』 いいずな書店『入試頻出漢字+現代文重要語 TOP 2500 三訂版』 桐原書店『日本文学史ノート』

### 3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	将来の目標に向かって土台を作る大切な授業です。現代文の学習方法や論理的な考え方を身に付けることを心がけてください。そのためには、授業を受けるだけではなく家庭学習が必要になりますので、予習・復習を欠かさぬようにしましょう。 また、慣用表現や和語といった文学的な文章によく出てくる表現をしっかり理解していきましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	毎時間の授業内容を確実に理解することが大切です。疑問点や、より深い内容を知るために、必ず辞書や『新総合図説国語』を携帯しましょう。
その他のアドバイス	文学的な文章も、評論文と同じように論理的な思考が大切です。「なんとなく」で読むのではなく、根拠を持って登場人物の心情や行動を理解していきましょう。